ベネズエラ情勢（内政・外交：令和４年５月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	109名	522,434名	0名	5,709名	515,703名
2日	80名	522,514名	0名	5,709名	515,728名
3日	36名	522,550名	0名	5,709名	515,769名
4日	14名	522,564名	0名	5,709名	515,819名
5日	23名	522,587名	0名	5,709名	515,871名
6日	38名	522,625名	0名	5,709名	515,880名
7日	47名	522,672名	0名	5,709名	515,899名
8日	77名	522,749名	0名	5,709名	515,907名
9日	15名	522,764名	0名	5,709名	515,939名
10日	36名	522,800名	0名	5,709名	515,960名
11日	40名	522,840名	1名	5,710名	516,065名
12日	50名	522,890名	0名	5,710名	516,098名
13日	31名	522,921名	1名	5,711名	516,170名
14日	55名	522,976名	0名	5,711名	516,210名
15日	44名	523,020名	1名	5,712名	516,225名
16日	39名	523,059名	0名	5,712名	516,247名
17日	60名	523,119名	1名	5,713名	516,284名
18日	30名	523,149名	1名	5,714名	516,328名
19日	25名	523,174名	1名	5,715名	516,409名
20日	64名	523,238名	1名	5,716名	516,432名
21日	28名	523,266名	0名	5,716名	516,468名
22日	77名	523,343名	0名	5,716名	516,506名
23日	39名	523,1377名	0名	5,716名	516,556名
24日	34名	523,411名	1名	5,717名	516,588名
25日	33名	523,444名	1名	5,718名	516,644名
26日	47名	523,491名	1名	5,719名	516,691名
27日	49名	523,540名	1名	5,720名	516,729名
28日	53名	523,593名	0名	5,720名	516,787名
29日	25名	523,618名	1名	5,721名	516,819名
30日	7名	523,625名	0名	5,721名	516,874名
31日	29名	523,654名	0名	5,721名	516,936名

（ア）　２６日、ベネズエラ航空当局（INAC）は、同日付コミュニケを通じて、航空便を通じたベネズエラへの入国に際し、３０日より、入国ルールを変更する（QR コード付ワクチン接種完了証明書の提示により、PCR 検査陰性証明書の提示不要（詳細確認中））旨発表した。

２　外交

（１）　プラセンシア外相のボリビア訪問

（ア）　４日、プラセンシア外相は、二国間関係の強化を目的に、ボリビアに到着した。

（イ）　５日、プラセンシア外相は、マイタ・ボリビア外相と、共通且つ戦略的なアジェンダの強化に関し、会合を実施した。

（２）　ロドリゲス・キューバ外相のベネズエラ訪問

（ア）　４日、ニャニェス通信文化担当副大統領は、ロドリゲス・キューバ外相と、二国間関係の強化に関し、会合を実施した。

（イ）　５日、マドゥーロ大統領は、ロドリゲス・キューバ外相と、会合を実施し、兄弟愛、団結、協力関係を再確認した。

（３）　マレーロ・キューバ首相のベネズエラ訪問

（ア）　９日、マレーロ・キューバ首相は、両国間に存在する強固な戦略的な同盟の枠組みにおいて二国間の協力強化に向けた３日間のベネズエラ公式訪問を開始し、マイケティア国際空港において、リ・カウシ・カリブ地域担当外務次官による歓迎を受けた。

（イ）　１０日、マレーロ・キューバ首相は、国立霊廟における献花を実施し、プラセンシア外相が同伴した。

（ウ）　１０日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、マレーロ・キューバ首相と、両国間で共有されている協力、兄弟愛及び団結の関係の深化に関し、会合を実施した。

（エ）　１０日、マドゥーロ大統領は、マレーロ・キューバ首相と、二国間の関心事項の評価及び深化に関し、会合を実施した。

（４）　米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA-TCP）関連会合

（ア）　２４日、ベネズエラの代表団は、第１回 ALBA-TCP スポーツ関連ハイレベル会合において、米州ボリバル同盟（ALBA）スポーツ大会の再開を提案した。

（イ）　２６日、マドゥーロ大統領は、第２１回 ALBA-TCP 首脳会議に出席するためにキューバに到着し、ハバナ国際空港にて、ディアスカネル・キューバ国家評議会議長の出迎えを受けた。

（ウ）　２７日、マドゥーロ大統領は、第２１回 ALBA-TCP 首脳会議に出席し、米国がロサンゼルスで開催予定の米州首脳会議において、ニカラグア、キューバ、ベネズエラを排除している点で常軌を逸していると述べるとともに、米州地域の国民を排除するこの動きに対し、勇敢且つ明確に抗議したロペス・オブラドール墨大統領、カストロ・ホンジュラス大統領、アルセ・ボリビア大統領に対し謝意を表明した。なお、マドゥーロ大統領は、今次首脳会議開催前にプレスに対し、「我々は、ロサンゼルスで開催予定の米州首脳会議に対する明確な立場を固めるために今次会議を実施し、米州大陸の国民を排除しようとする帝国主義的見解を断固として拒絶する。」と述べた。

（５）　その他

（ア）　１日、プラセンシア外相は、ツイッターを通じて、リカルド・アラルコン・キューバ前人民権全国議会議長が死去したことに対する追悼の意を表明した。

（イ） ２日、エル・アイサミ経済担当副大統領は、当地を訪問していたOwji イラン石油大臣と、石油分野における二国間協力メカニズムの深化の継続に関し、会合を実施した。

（ウ） ２日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Ri Sung Gil 駐ベネズエラ北朝鮮大使と、国際情勢に関し、会合を実施した。

（エ） ５日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、ランポジャ国連常駐調整官兼人道調整官と、技術支援及び協力の進捗のレビューに関し、会合を実施した。

（オ） ６日、マドゥーロ大統領は、同日、キューバのサラトガホテルにて発生した爆発に対する追悼の意を表明した。

（カ） ７日、カストロ農業生産性・土地大臣、ヒメネス科学技術大臣、テラン・ラ・グアイラ州知事、アラグジャン・コンビアサ航空社長は、協力関係の強化に向けてベネズエラを公式訪問したバルキンド石油輸出国機構（OPEC）事務局長を歓迎した。

（キ） ９日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、ニコラス・マドゥーロ・ゲラ国会議員（大統領子息）と、ベネズエラと中国の外交・協力関係の深化継続に関し、会合を実施した。

（ク） １０日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、ベネズエラ訪問中のChasombat タイ大使（在ペルー・ベネズエラ兼轄）が率いるタイ代表団と、二国間アジェンダのレビューに関し、会合を実施した。

（ケ） １０日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Le Viet Duyen 駐ベネズエラ・ベトナム大使と、農業分野における協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（コ） １１日、プラセンシア外相は、Eltayeb Abdulgassim 駐ベネズエラ・スーダン大使に勲章を授与した。

（サ） １１日、プラセンシア外相は、ツイッターを通じて、ベネズエラ政府の経済・社会危機が悪化しているスリ・ランカの国民に対する団結の意を表明した。

（シ） １１日、プラセンシア外相は、ツイッターを通じて、ヨルダン側西岸におけるアルジャジーラ記者の殺害に対するベネズエラ政府の拒絶を表明した。

（ス） １３日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、Rashid Fetais 駐ベネズエラ・カタール大使と、国連工業開発機構の４プロジェクトに対する財政支援の可能性に関し、会合を実施した。

（セ） １３日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、Mutevellioglu 駐ベネズエラ・トルコ大使と、二国間協力関係のレビュー及び深化に関し、会合を実施した。

（ソ） １３日、マドゥーロ大統領は、バルキンドＯＰＥＣ事務局長と、ベネズエラとＯＰＥＣの友好及び協力関係強化に向けた会合を実施した。なお、同事務局長は、デルシー・ロドリゲス副大統領、アリ・パドロン観光大臣及びエル・アイサミ経済担当副大統領及び石油大臣等と会合を行った由。

（タ） １６日、主要野党で構成される統一プラットフォームは、同日付コミュニケを通じて、統一プラットフォーム事務局長の任命を含む、統一プラットフォーム内の合意を発表した。

（チ） １６日、マドゥーロ大統領は、カルロス・ファリア前駐ロシア・ベネズエラ大使を外務大臣に、イポリト・アブレウ前運輸大臣を産業・国内生産大臣に、フランシスコ・トレアルバ前体制側国会議員を労働・社会プロセス大臣に、また、ラモン・ベラスケス前国営会社コンビアサ航空社長を運輸大臣に任命した。

（ツ） １７日、ファリア外相は、ラヴロフ・ロシア外相と、二国間協力のさらなる強化に対する準備の確認に関し、電話会談を実施した。

（テ） １７日、統一プラットフォームは、同日付コミュニケを通じて、メキシコにおける与野党間交渉の再開に向

けた体制側との公式な対話の開始を発表した。同コミュニケ発表とほぼ同時にヘラルド・ブライデ与野党交渉野党側コーディネーター及びホルヘ・ロドリゲス与野党交渉体制側代表（体制側国会議長）は、自身のツイッターを通じて、両者が会合を行った旨報告した。一方、右報告後、ホルヘ・ロドリゲス与野党交渉体制側代表及びデルシー・ロドリゲス副大統領は、自身のツイッターを通じて、引き続き、アレックス・サーブ被告の与野党交渉「社会福祉のための国内会議（Mesa nacional de Atención Social）への参加を求める旨述べた。

（ト） １９日、体制側国会は、Stella Marina Lugo de Montilla 前在アルゼンチン・ベネズエラ臨時代理大使を駐アルゼンチン・ベネズエラ特命全権大使として任命する旨可決した。

（ナ） ２１日、264 名のベネズエラ人は、祖国帰還計画（Plan Patria a la Patria）を通じて、ペルーよりベネズエラに帰還した。

（ニ） ２３日～２７日、ベネズエラにおいて第１７回アフリカ週間が開催された。

（ヌ） ２６日、ベネズエラは、ロシアから 789,742 ドースの Geropharm 製インスリンを受領した。

（ネ） ３０日、Joao Pedro de Vasconcelos Fins Do Lago 駐ベネズエラ・ポルトガル大使は、マドゥーロ大統領に対し、信任状を捧呈した。

（ノ） ３１日、マドゥーロ大統領は、EU によるロシアに対する制裁は、米国、欧州及び世界にとって経済的自殺であると述べた。

（了）